

令和 3 年 4 月 9 日
気象庁地震火山部

配信資料に関するお知らせ

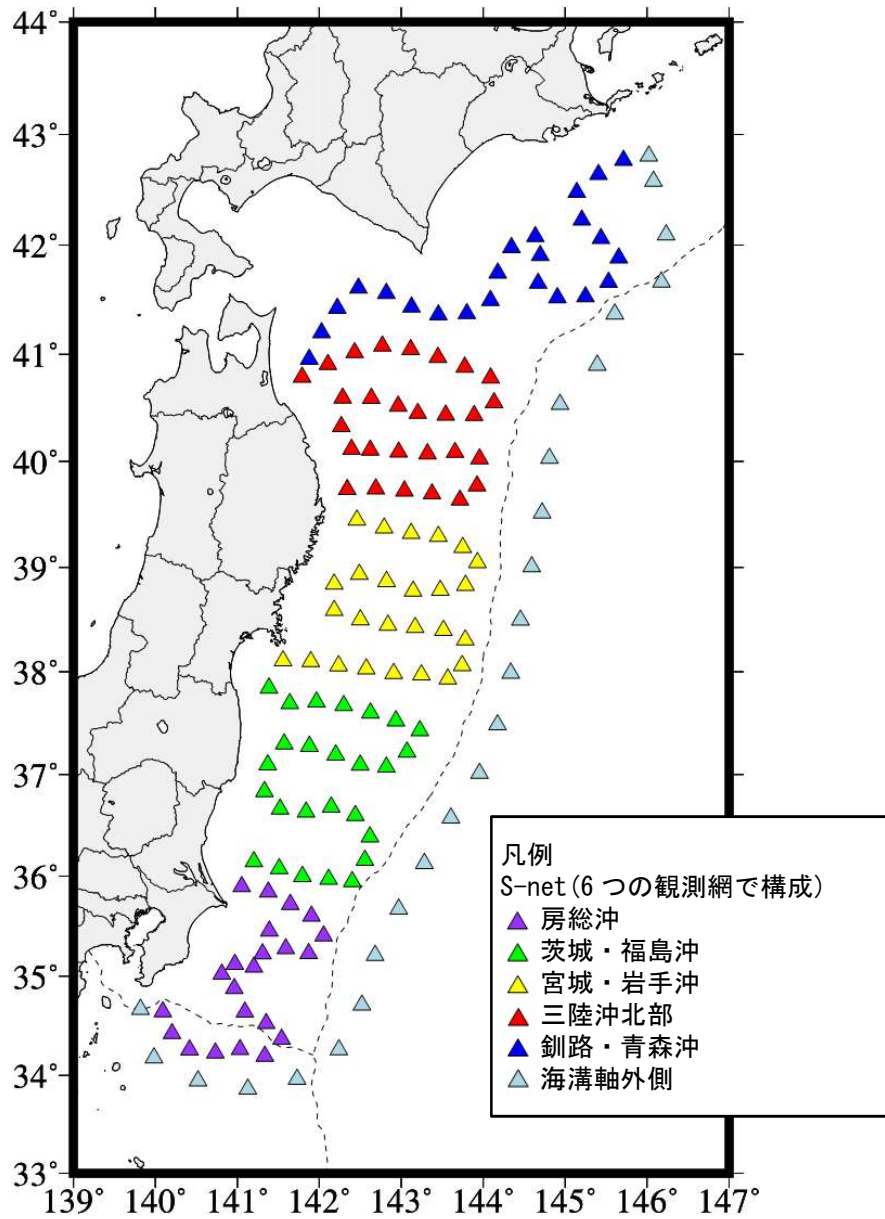
～日本海溝海底地震津波観測網(S-net)のメンテナンスに伴う
緊急地震速報等への影響について～

気象庁は、国立研究開発法人防災科学技術研究所の協力を得て、同研究所が運用管理している日本海溝海底地震津波観測網(S-net)の観測データを緊急地震速報や津波情報の発表に活用し、情報発表の迅速化を図ってきました。

今般、同研究所において、4月中旬に S-net のメンテナンスを実施する予定です（詳細は別紙 1 参照）。これに伴い、メンテナンス予定時間帯は、当該観測点のデータを緊急地震速報の発表や津波警報の更新等に活用できなくなります。この時間帯に当該観測点の周辺を震源とする地震が発生した場合、S-net のデータを活用することにより得られていた緊急地震速報の発表、津波警報の切り替え、津波観測情報の発表の迅速化や精度向上の効果が低減します（迅速化の効果については別紙 2 参照）。

なお、津波警報（第 1 報）や地震情報の発表までにかかる時間及びその内容に影響はありません。

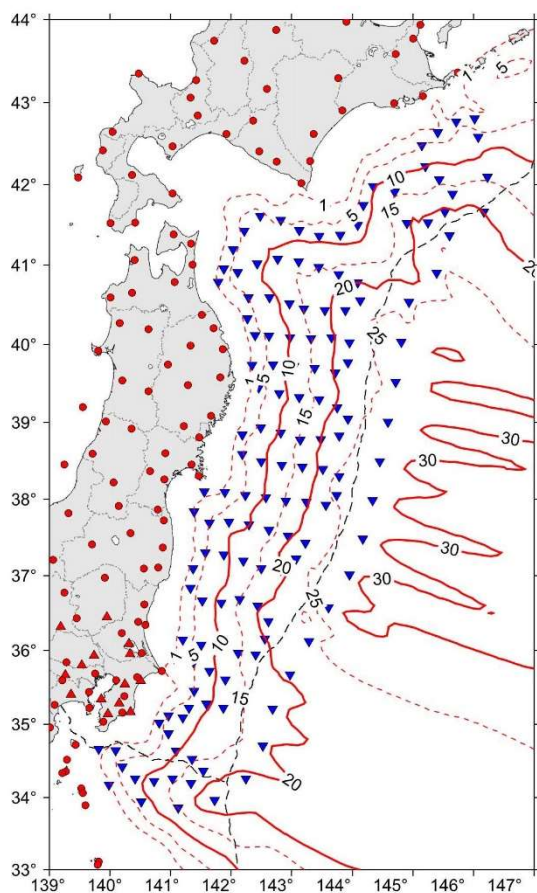
日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) の観測点配置図



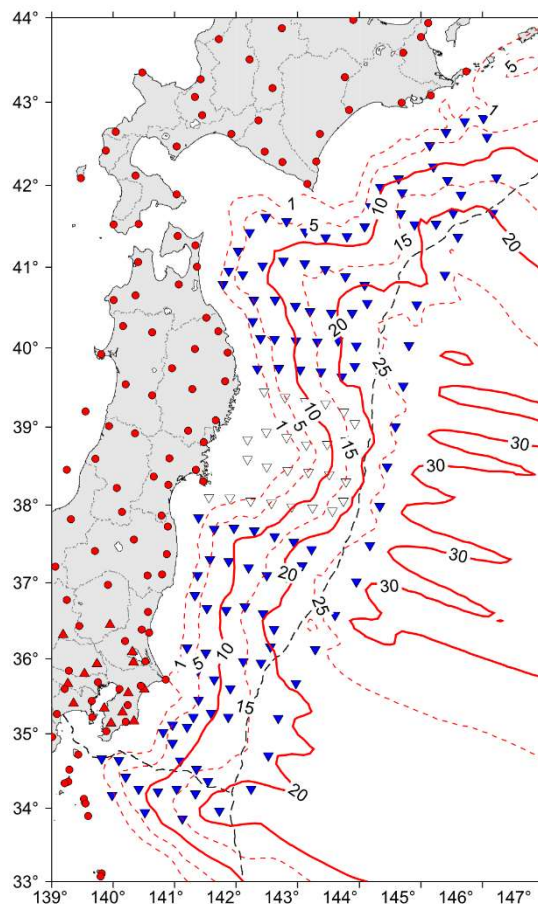
メンテナンス予定日時	対象の観測網
①4月12日 13:00 - 18:00	
4月13日 09:00 - 15:00	
4月14日 09:00 - 12:00	宮城・岩手沖 ▲
4月14日 14:30 - 18:00	
4月20日 09:00 - 17:00	
②4月14日 13:00 - 14:30	宮城・岩手沖 ▲ および三陸沖北部 ▲

※メンテナンス予定日時については、作業の状況により多少前後する可能性があります。

S-net 活用による緊急地震速報の迅速化 (①のメンテナンス中)



S-net を緊急地震速報に活用した際に得られる緊急地震速報の迅速化の効果 (秒)

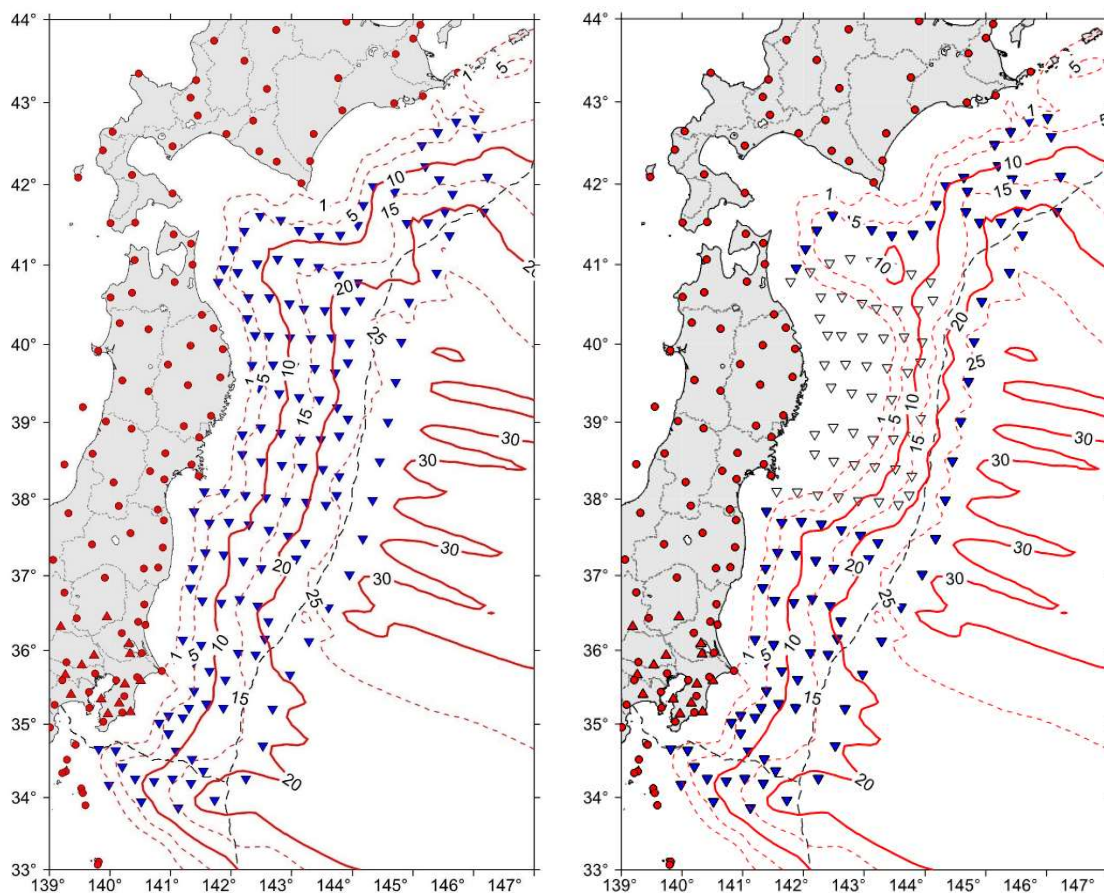


別紙 1 の①のメンテナンス時間帯に▽の S-net 観測点 (宮城・岩手沖) が緊急地震速報に活用できない場合に得られる緊急地震速報の迅速化の効果 (秒)

各図中の値は、その地点で地震が発生した場合に、S-net を活用しない場合と比べて、緊急地震速報 (警報) の発表がどの程度早まるかを計算した理論上の最大値 (秒) を示します。

▽の S-net 観測点 (宮城・岩手沖) 周辺で発生する地震について、S-net の観測データを活用した際に得られる緊急地震速報 (警報) の迅速化の効果は最大で 25 秒程度となりますが、▽の S-net 観測点 (宮城・岩手沖) がメンテナンス中の場合は最大で 20 秒程度となります。

S-net 活用による緊急地震速報の迅速化 (②のメンテナンス中)



S-net を緊急地震速報に活用した際に得られる緊急地震速報の迅速化の効果 (秒)

別紙 1 の②のメンテナンス時間帯に▽の S-net 観測点 (宮城・岩手沖および三陸沖北部) が緊急地震速報に活用できない場合に得られる緊急地震速報の迅速化の効果 (秒)

各図中の値は、その地点で地震が発生した場合に、S-net を活用しない場合と比べて、緊急地震速報 (警報) の発表がどの程度早まるかを計算した理論上の最大値 (秒) を示します。

▽の S-net 観測点 (宮城・岩手沖および三陸沖北部) 周辺で発生する地震について、S-net の観測データを活用した際に得られる緊急地震速報 (警報) の迅速化の効果は最大で 25 秒程度となりますが、▽の S-net 観測点 (宮城・岩手沖および三陸沖北部) がメンテナンス中の場合は最大 20 秒程度となります。